



宇治市宣伝大使 「ちはや姫」

ちはや姫の名前は、宇治の枕詞(まくらことば)である
「ちはやぶる」から名付けられました。
「ちはやぶる」とは、勢いのある様子のことで、この
キャラクターを通してますます宇治市の発
展に勢いがつくように、との願いが
込められています。

宇治市

魅力発信 行動指針

活力とにぎわいの
あるまちを目指して

策定：宇治市 平成27年3月

宇治市政策経営部政策推進課

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地

TEL:0774-22-3141(代) | FAX:0774-20-8778

E-mail:seisaku@city.uji.kyoto.jp



宇治市長 山本 正

宇治にお住いのかた、
宇治で働かれているかた、
宇治に通う学生のかた、
宇治市に関わるすべてのみなさんへ

宇治のすばらしい魅力を、
みなさんで市内に、国内に、
世界に発信しませんか。

宇治市は、世界遺産である宇治上神社や平等院をはじめ、全国に誇る高級茶の代名詞である宇治茶や、国の重要文化的景観である宇治川を中心とした景観など、歴史や文化、自然といった、たくさんの魅力があふれています。

みなさんが身近に感じる宇治の魅力を、誰かに伝えてみませんか。

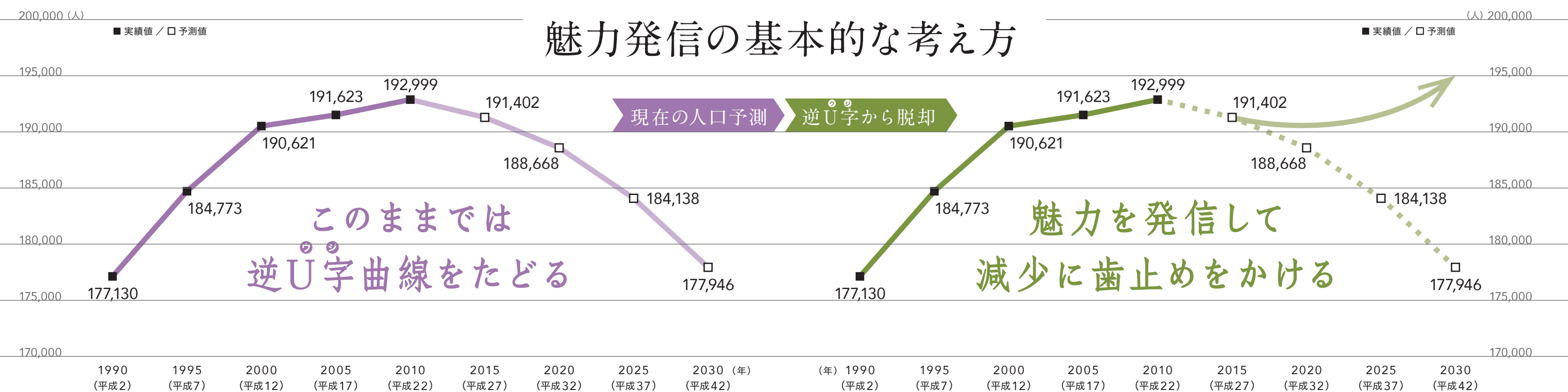
魅力を伝えれば、みなさん自身が「来てよかった、住んでよかった」と、もっと強く感じることもできる、魅力的なまちになるでしょう。

宇治に関わるすべての人が宇治の魅力を感じ、地域への愛着を深めることで、活力にあふれたたくさんの人が生き生きと行き交う、にぎわいのあるまちづくり。

私もそのまちづくりの先頭に立って、積極的に宇治の魅力を発信していきます。人口減少・少子高齢社会への進展が見込まれる時代においても、魅力にあふれ、「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を宇治に関わるすべての人で築いていきましょう。

もくじ index

魅力発信の基本的な考え方	03・04
宇治市の魅力	05・06
行動指針／目指す効果	07・08
私たちも創造・発信しています！宇治の魅力	09・10
宇治の魅力を発信する取組アイデア	11・12
魅力発信の取組実行にかかる仕組み	13・14



宇治市も例外ではない人口減少問題

人口流出・人口減少・少子高齢化

直近5年で約1,400人が他市町村へと流出(社会動態)しています。このまま推移すると、2030年(平成42年)までに1.5万人(7.8%)減少し、高齢者数が5.4万人(人口の約30%)まで増加します。

その結果

地域コミュニティの衰退

町内会・自治会等地域活動を支える団体の活動が衰退する恐れがあります

まちの活力の低下

児童数の減少や、商業活動の衰退など、まちの活力が損なわれます

公共サービスの水準の低下

税収入の減少により、サービス水準の維持も容易ではなくなります

市民が宇治の魅力を再認識し、宇治への愛着を強める

宇治に関わるすべての人々による宇治の魅力発信

その結果

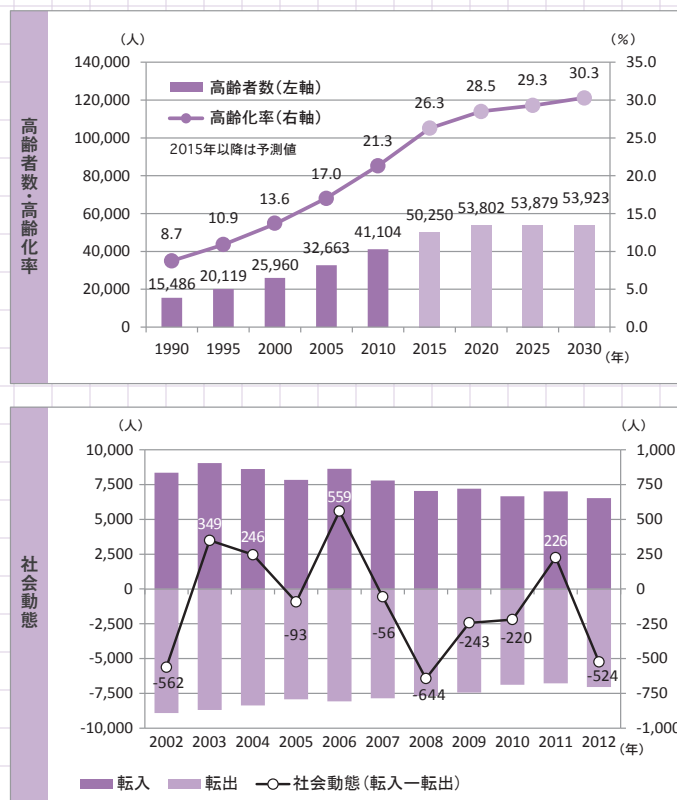
市民が宇治に住み続ける
▶人口流出の抑制

市外への魅力発信
▶人口の流入

人口減少に歯止め

将来にわたって、
活力とにぎわいのある
まちであり続けるために

宇治市の人口は、既にピークを越え、第5次総合計画の人口推計によると、今後、減少していく見込みです。人口が減少すると、地域コミュニティの維持が難しくなるとともに、まちの活力が低下する恐れがあります。また、公共サービスの水準を維持することも容易ではありません。特に、地方では若年層の都市部への流出が人口減少を加速させる要因となっていますが、宇治市でも、近年、転出口が転入人口を超過する傾向があり、人口流出の抑制は解決すべき大きな課題といえます。



魅力発信により
市民の宇治への愛着を育み、
人口の流出を抑制する

人口減少に歯止めをかけるため、人口流出の抑制を目指します。そのためには、まず市民が宇治の魅力を再認識し、宇治への愛着をより強くしていく必要があります。宇治への愛着が、宇治に住み続けようという意識を高めます。市民参加による魅力発信は、その中心となる手段です。市民が相互に魅力を発信し、周囲の人を巻き込んでいきます。例えば、長年、宇治に住み宇治の魅力を良く知中高年層が、子どもたちや新たに宇治に住むこととなった子育て層に魅力を発信し、愛着を醸成します。愛着の醸成から、市民全体で市外へ魅力を発信する行動への転換を促し、市外の人にも宇治に住んでもらうこと(人口流入)を目指します。



「宇治市」を今後も発展させていくため
「宇治の魅力発信」は不可欠
その具体的な方策は次頁以降にご紹介しています。

宇治市の魅力 伝えたい宇治の暮らしの魅力

宇治市は、歴史資源や文化資源、自然資源など、多岐に渡る魅力を有するまちです。
民間シンクタンクの都市のブランド力の調査では、宇治市は全国1,000自治体の中でも上位に位置し、全国でも有数のブランド力があるまちです。
この強みを活かしながら、「宇治に住みたい」「宇治をもっと訪れたい」という気持ちにつなげる工夫が魅力発信の主な活動となると考えられます。

※株式会社ブランド総合研究所
「地域ブランド調査」。2014年
(平成26年)実施の調査では
地域が魅力的かを示す設問で
38位。



現在も歴史文化が日常生活に息づく、暮らしの奥深さに関する魅力

- ◆宇治市には、世界遺産に登録された宇治上神社や平等院をはじめ、数多くの史跡が残るとともに、源氏物語の舞台ともなるなど、歴史文化のあふれるまちです。
- ◆宇治茶は宇治の象徴であり、全国に誇る高級茶の代名詞です。現代においても生活にお茶文化が根付いているほか、土地に伝わる県祭りや宇治田楽など、豊かな日本文化に触れることのできるまちです。



京都や大阪に近接しながら、身近に自然と触れ合うことのできる暮らしの魅力

- ◆646年(大化2年)に宇治橋が架けられ、古代から交通の要衝として発展してきました。
- ◆現在、宇治市には4本の鉄道が走り、京都まで約20分、大阪まで約50分。さらに、京滋バイパスや開通が予定される新名神高速道路など、車でのアクセスも良く交通の利便性が高いまちです。
- ◆一方、平安貴族も遊覧した宇治川をとりまく山々等、緑あふれる地域で、宇治川を中心とした市街地に隣接する歴史的景観が国の重要文化的景観に選定されています。



互いに支え合う地域コミュニティの魅力

- ◆コミュニティセンターや集会所など、町内会・自治会活動をはじめ、サークル活動や福祉活動などが行える場がたくさんあります。
- ◆学区福祉委員会やNPO法人など、地域で活動する団体もたくさんあります。
- ◆また、市民自らが、地域のまちづくり主体的に関わる地区まちづくり協議会が6つ認定され、活発に活動をされています。



お年寄りや子どもが安心して暮らすことのできる魅力

- ◆宇治市は、社会福祉サービスの充実した誰もが安心して暮らせるまちです。
- ◆例えば、高齢者の在宅介護のサポートでは、医療・介護・予防・生活支援・住まいに加え、社会参画・生きがいづくりを含めた支援・取組が一体的に提供される宇治方式の地域包括ケアシステムを推進しています。
- ◆また、子育て支援としては、保育環境を整備し、2014年(平成26年)4月時点の待機児童数が0人(国の定義後)となっているほか、地域の子育て支援拠点が充実しています。



多くの人との触れ合いやにぎわいなど、暮らしに彩りを与える魅力

- ◆宇治市はにぎわいに恵まれたまちです。数多くのイベントで人を集める商店街もあり、年末年始には寺社にたくさんの参拝客等が訪れます。
- ◆市民が季節ごとに家族や友人と連れ立って遊ぶことができる祭りやイベントが多いことは、宇治の大きな魅力です。
- ◆また、こうした毎年の祭りやイベントの準備を通じて、それぞれの地域での人のつながりを深めていることも見逃すことができません。

行動指針 誰がどのように魅力発信をするか



魅力発信を進めるためには、市役所はもちろんのこと、市民・事業者・NPO等の団体・学校をはじめとする宇治に関わるすべての人々の協力が必要です。それぞれの主体が個々に活動を進めるとともに、お互いに協力することでさらなる効果を発揮することを目指します。

主要な方策



魅力発信の取組が、持続的な活動につながるよう、5つの方策を進めていきます。それぞれの方策に対する具体的な取組アイデアについては、11、12ページをご覧ください。

魅力発信の主体

主体	主な魅力発信行動内容
市民	全国の誰よりも宇治の魅力を知り、自ら楽しみ、発信する。 宇治の魅力に関わる活動に関心を持ち、交流の場に参加する。
事業者	企業が知る宇治の魅力を、顧客だけでなく市民にも発信する。 魅力発信活動に、市民等と協働で取り組む。
市役所	魅力発信の主体をつなぐ場を構築する。 市民への啓発や事業者・各種団体が行う取組を支援するとともに、魅力発信の主体の一つとして市民等と協働で取り組む。
各種団体	イベント等を通じ、市民が宇治の魅力を楽しむ場を提供する。 市民が宇治の魅力を知ることができる機会を提供する。
学校	宇治の自然・歴史・文化・産業等を教材として活用する。 児童・生徒・学生が宇治の魅力を知る機会を増やす。

方策① 宇治の魅力発見・発掘

宇治の魅力について、多くの市民が実感できるよう、魅力の発見・発掘に向けた取組と、その魅力を次世代に引き継いでいくための取組を展開します。

方策② 宇治の魅力に磨きをかける

歴史的なまちなみの保全や、豊かな自然環境を活かしたまちづくりなど、宇治の魅力に、さらに磨きをかける取組を展開します。

方策③ 新たな宇治の魅力づくり

地域の大学や事業者、市内で新たな暮らしを展開する人たちとの協働により、これまでにない新たなまちの魅力を創出するための取組を展開します。

方策④ 宇治の魅力の情報発信

より多くの人に宇治の魅力を知ってもらい、触れてもらうため、あらゆる情報発信に向けた取組を展開します。

方策⑤ 宇治の魅力を支える仕組みづくり

宇治の魅力は、多くの市民やNPO等の団体などの活動によって支えられています。今後、さらに宇治の魅力を高めていくために、魅力を支える人や団体が協働できる仕組みづくりを展開します。

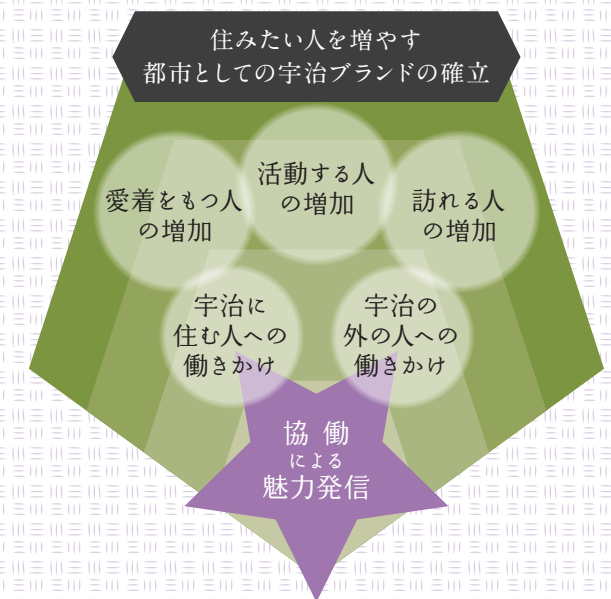
何のために魅力発信をするか 目指す効果

市民参加による宇治市の魅力の再認識・創造・発信を通じて、確固たる宇治ブランドを確立し、「選ばれるまち」となって持続的発展を目指す

魅力発信をきっかけとして、市民が宇治の魅力を再認識し、これからも宇治に住み続けたいと実感できるようにします。また、都市としての宇治ブランドを確立することにより、市外の人にも住みたいまちと感じてもらうことを目指します。魅力発信の効果を高めるため、取組は市役所だけでなく宇治の魅力を良く知っている市民・事業者・学校等が協働で行います。また、魅力発信の取組の浸透が、まちに愛着を持って活動を行う人口・人材を増やし、人が生き生きと活動を行えるまちとなり持続的な発展につながることを目指します。

魅力発信の取組による目標と客観的な指標を次のとおり設定します。目標達成に向けて、それぞれの指標を向上させることを目指して、取り組みます。

目標	指標
最終目標	『宇治に暮らしたいと思う人』を増やす 社会動態 市民の定住意向(アンケート)
中間目標	『宇治に愛着を持つ市民』を増やす 市民の愛着度(アンケート) 祭りやイベントなどの参加者数
	『宇治の魅力向上に寄与する活動を行う人』を増やす (仮称)宇治魅力発信プラットフォーム参加者数
	『宇治を訪れる人』を増やす 観光客のリピーター率/京都観光客の宇治への訪問率 地域ブランド調査(全国調査)



私たちも創造・発信しています！

宇治の魅力

宇治商工会議所（チャチャ王国のおうじちゃま）

地域を基盤として、商工業の発展、振興に力を注ぎ、国民経済の健全な発展に寄与するための、「公共性、地域性、総合性、国際性」を4つの柱に活動する地域総合経済団体です。

“チャチャ王国のおうじちゃま”は、宇治のPR、宇治市産品のPR、地域振興・活性化を目的に活動しています。

ゆるキャラグランプリ2014で約1,700体の中から5位に選ばれました。おうじちゃまの知名度、人気の向上が、若い世代の方々を中心に、宇治市や宇治茶への知名度、愛着の向上に結びつくよう取り組んでいます。



公益社団法人 宇治市観光協会

「宇治川さくらまつり」「宇治川の鶴飼」「源氏物語宇治十帖スタンプラリー」などの市民や観光客に楽しんでもらえるイベント開催等を通じて宇治市を盛り上げています。

市民や観光客の憩いの場を守り、次世代の育成や地域の文化と経済の向上発展に寄与できるよう、国内外からの観光客の誘致・観光客受入体制の整備・組織の充実等に取り組んでいます。

また、宇治観光ボランティアガイドクラブは、国内外の観光客の方々に、宇治の豊かな魅力をより深く知っていただくために、ガイドブックだけでは得ることのできない風景やエピソードなどを紹介するなど、旅のエスコートをしています。宇治にお越しの際は、ぜひお声掛けください。



京都文教大学（京都文教大学 地域連携学生プロジェクト）

2014年（平成26年）度文部科学省「地（知）拠点整備事業（大学COC事業）」に本学の「京都府南部地域ともいき（共生）キャンパスで育てる地域人材」が採択されました。大学と地域が共に生かしあい、ともに生き生きするよう、授業や地域の方々（住民・企業・行政・NPO等）との共同研究、宇治市高齢者アカデミー、京都府南部地域まちづくりミーティングなどを通じて、地域に貢献できる人材を育成していきます。

また、本学では学生が地域交流や社会貢献活動などの地域連携学生プロジェクトに主体的に取り組んでいます。「宇治☆茶レンジャー」は、学生が感じた宇治茶の魅力を広く地域に発信するプロジェクトです。毎年秋に、宇治茶をテーマにしたスタンプラリー等のイベントを企画するほか、観光客への宇治茶接待等、地域と協働した取組を行っています。



宇治市茶生産組合青年部

市内産の宇治茶は、ほんずや寒冷紗による覆下栽培や手摘み、宇治茶の伝統的な茶製法である手もみなどにより、他にはない良質のものを提供しています。

市内産の宇治茶の良さをより多くの方に知ってもらえるよう、極上抹茶の生産や市内・国内外のイベント等で抹茶をふるまうなど、PRに取り組んでいます。



京都府茶協同組合（宇治茶レディ）

京都府茶協同組合は、京都府内で製茶業、茶卸売業及び茶小売業を営む事業者で構成し、京都府茶業の復興に寄与することを目的に活動しています。

宇治茶をPRする活動の一環として、宇治茶レディと称して、毎年、宇治茶が大好きな女性を公募し選考しています。2014年（平成26年）度は、5代目で4人の宇治茶レディが年間20件を超えるイベントやPR事業に参加し、宇治茶のおいしさを多くの人に伝える活動を実施しています。



一般社団法人 宇治青年会議所

青年会議所は、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体です。よりよい社会づくりをめざし、明るい地域の創造に向け市民意識の変革や行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

いつの時代も、未来を担うのは子どもたちです。その子どもたちに、夢や希望が持てる明るいまちをつくり、健全な青少年を育成していくのは我々大人の努めであると考えて小学生による川柳大会や、地域の皆様に参加いただく新春茶会（初釜）を実施しています。



市内高等学校

宇治の魅力を市内外に発信することを目的に開催した「高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト」には、4つの高等学校（京都芸術高等学校、京都翔英高等学校、京都府立城南菱創高等学校、立命館宇治高等学校）の高校生グループから応募がありました。



城南菱創高校英語ゼミ6組チーム（最優秀賞受賞グループ）

英語ゼミの活動の一環として、宇治の魅力を英語で発信しようと応募しました。自分たちの住んでいる宇治のことを、改めて見直すことができました。他のグループの作品も、私たちの知らないことが紹介されていて、おもしろかったです。



宇治の 魅力を発信する 取組 アイデア



方策①

宇治の魅力発見・発掘

宇治の魅力について、多くの市民が実感できるよう、
魅力の発見・発掘に向けた取組と、その魅力を次世代に
引き継いでいくための取組を展開します。

- ・まちの魅力の発見に向けたまち歩き
- ・子どもの目線で見たまちの魅力の募集
- ・市民からの宇治の魅力の募集
- ・まちの歴史文化に関する市民講座の開催
- ・市民向け宇治の魅力体験講座等の開催
- ・茶摘み体験等地域の伝統産業の体験イベント 等



方策② 宇治の魅力に磨きをかける

歴史的なまちなみの保全や、豊かな自然環境を活かした
まちづくりなど、宇治の魅力に、さらに磨きをかける取組を
展開します。

- ・地域のまちなみ保全・景観形成
- ・市内産宇治茶のブランド化
- ・魅力的なお土産・食事の開発
- ・宇治茶を使ったスイーツコンテストの実施や新しい名物の開発
- ・源氏物語等の地域ゆかりの物語を活かしたイベントやまちづくり 等



方策③

新たな宇治の魅力づくり

地域の大学や事業者との連携や、市内で新たな暮らしを展開する人
たちとの協働により、これまでにない新たなまちの魅力を創出するた
めの取組を展開します。

- ・まちの歴史性や自然資源を活かした新たなイベントやまちづくり
- ・大学や事業者との協働によるイベントやまちづくり
- ・大学生等の若者によるイベントやまちづくり
- ・事業者による宇治ブランドを活かした新商品・事業開発 等

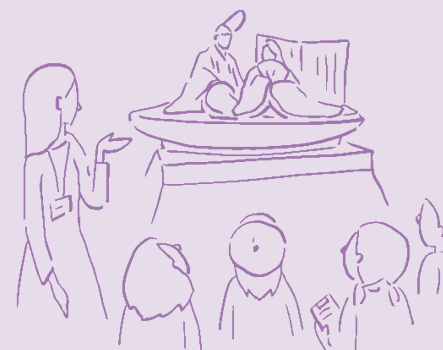


方策④

宇治の魅力の情報発信

より多くの人に宇治の魅力を知ってもらい、触れてもらうため、
あらゆる情報発信に向けた取組を展開します。

- ・ホームページやSNS、動画など、時代に応じた
ICT技術を活用した情報発信
- ・ふるさと納税のお礼の品に市内特産品等を追加し、宇治の魅力をPR
- ・ちはや姫等ゆるキャラの活用
- ・高校生をはじめ様々な世代の視点を活かした情報発信
- ・コミュニティペーパー等による情報発信
- ・まちのお店紹介等のマップの作成・配布
- ・事業者等とのタイアップによる宇治ブランド広報・PR
- ・大学生や外国人旅行者などターゲット・ニーズに応じた情報発信 等

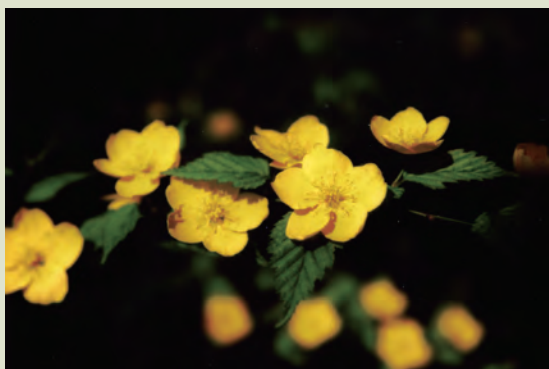


方策⑤ 宇治の魅力を支える仕組みづくり

宇治の魅力は、多くの市民やNPOの団体等の活動によって支えられています。
今後、さらに宇治の魅力を高めていくために、魅力を支える人や団体が
協働できる仕組みづくりを展開します。

- ・まちの魅力を支える人や団体の協働の取組に向けた仕組みづくり
((仮称)宇治魅力発信プラットフォーム)





魅力発信の取組実行にかかる仕組み

あなたも参加しませんか？ (仮称)宇治魅力発信 プラットフォーム

まちの魅力発信を担う人々や団体が集い、
お互いに協力して活動を進めるための
プラットフォームを立ち上げます

まちの魅力は、地域のまちづくりに取り組んでいる市民やNPOなどの団体、まちの歴史文化を受け継ぎ支えている人や、地域の活性化の担い手となっている事業者の方々、さらには市内に立地する学校などに支えられています。このようなまちの魅力を支えている人や団体が、お互いに情報交換を行うとともに、協働して取組を進め、より魅力的な宇治市を築いていくためのプラットフォームを立ち上げます。



プラットフォームの役割と活動

- ◆ 宇治の魅力づくり、魅力発信に携わる、あらゆる人や団体が集う場とします。
- ◆ 参加する人や団体の活動に関する情報交換と連携協力に向けた協議の場とします。
- ◆ 参加者同士の協力・意見交換により、魅力発信の相乗効果を高めます。
- ◆ 参加者による魅力発信に関する新たな協働プロジェクトを立ち上げます。

※プラットフォームとは、ある目的に対して、様々な人が集まり、それぞれが得意とする分野を活かしながら、目的達成に向けてどういった取組ができるかを話し合い、実際の取組を考える場のことです。

市役所の役割

市役所は、プラットフォームを立ち上げるとともに、参加者の自由な議論・発想で魅力発信という目的に対して、それぞれの得意分野を活かしながら協働によるオール宇治で取り組めるよう、プラットフォームに対し、次に示す運営支援を行います。

- ◆ 各魅力発信主体(市民・事業者・各種団体・学校)等への参加促進をします。
- ◆ 地域と行政をつなぐコーディネーターを設置します。
- ◆ 協働プロジェクトへの財政支援に取り組みます。

